

「世界と繋がり未来に繋げよう行橋ロータリークラブ！」

2018－2019年度
行橋ロータリークラブ会長
福島 小太郎



伝統ある行橋ロータリークラブの55周年という節目の年に会長を拝命し、とても嬉しく思います。一年間、どうぞよろしく願いいたします。

R I の方向性、ロータリーを取り巻く環境は時代と共に変わりますが、2700地区では「ロータリーの本質は不変であり、良き伝統を尊重し継続して行く」という方針を決議しています。岡野ガバナーからの「寛容と思いやり そして和の心」というメッセージは行橋ロータリークラブの伝統そのものだと思います。

55年という年月は私が物心ついてから今日までの時代であり、高度成長、オイルショック、バブル景気、大不況、震災を経て今、ITとAIにより大きく変わろうとしています。激動の昭和から平成の時代に伝統を保ち存続するために、諸先輩方が様々な改革をして来られた事は想像に難くありません。長く輝かしい歴史を持つ組織が全てそうであるようにロータリーは今、転換点にあり岐路にあると言われます。状況の変化に応じてクラブの運営を見直して行かねばならない部分もあると思います。どんな状況にも柔軟に対処できる体力をつけ、活力あるクラブを永続するにはどうすべきか、クラブ全員で考え実行して参りたいと思います。

孫子の代を越えても続く行橋ロータリー！まずは100周年を目指しましょう。

Be The Inspiration ??

バリ・ラシンRI会長のテーマは Be The Inspiration 公式日本語訳はやや難解です。ロータリーと発祥の地を同じくするロックバンド、シカゴの You are The inspiration という曲の邦題は「君こそすべて」でした。You are my inspiration ! という言い回しもよく耳にします。

2018年度の国際協議会でラシン会長は「ロータリーが今年度や次年度だけでなく、ロータリーでの私たちの活動、ひいては私たちの生涯を超えて成長し続け、世界に役立っていけるように」と話されました。バハマ人であるラシン会長にとって海は常に特別なものであり、何千マイル離れた地の誰かと同じ海を共有しているという繋がり感覚はインスピレーションであると語り、サン＝テクジュペリの言葉を引用しておられます。

「船を造りたいなら、木を集めさせたり、作業や任務を割り振るのではなく、はてしなく続く広大な海への切望の心を培うことから始めなさい」

人々にインスピレーションを与えるクラブ、ロータリアンになろう！

私たちにとってのインスピレーションは何か？ 皆で考え行動して行きましょう。